



**提言2** 観光/地域資源を最大限に生かした観光振興

(R5.12月末撮影)

西部海岸地区の魅力をさらに高め、観光客の増加などの新たな活力を呼び込むための道の駅「たのうらら」を整備することにより、観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進を図ることを目指しています。なお、令和6年度の運用開始を目標にしています。



観光パンフレットや観光PR映像で杵原八幡宮をはじめ西大分エリアの観光資源の魅力発信に取り組むとともに、令和4年度は西大分エリアの観光スポットの周遊を促進するサイクリングコースの選定を行いました。



**提言3** 教育・スポーツ/豊かな自然環境での教育、スポーツ交流の推進

八幡校区では「やはたの蛍光ふたたび事業」において、竹炭窯を整備しました。自治会が竹炭を作り、八幡小学校の4年生が袋詰めしたものを全校生徒に配布し、家庭で竹炭を使用することを通して、環境教育につなげています。



西部スポーツ交流広場では、令和2年度にAグラウンドの人工芝化、Bグラウンドの日除けを設置しました。人工芝グラウンドは、令和3年1月から一般供用を開始しました。その後、Aグラウンド西側駐車場に日よけベンチを設置しています。

令和5年度にグラウンド側駐車場のアスファルト舗装工事を行いました。

**提言4** 防災/巨大地震の発生に伴う津波への備え

別府湾沿いでは、巨大地震や津波などの自然災害を想定した避難対策を、日ごろから心掛けることが重要です。津波が発生した際、近くの高台へ避難できるよう高崎山、うみたまごに、避難用の掲示板を設置しました。



**主な意見と回答**

・西大分駅前をどのように改修していくのか。  
→令和6年3月末の完成を目指して、歩行者通路の整備、駐輪場の整備、タクシーベ이의整理を行っています。



・別府方面から道の駅「たのうらら」への交通アクセスはどのようになるのか。  
→国土交通省が道の駅「たのうらら」に接する国道10号線に、新たな交差点を作り、別府からは右折レーンを設けます。また、「たのうらら」から出る車についても、スムーズに大分、別府方面に行けるよう対応していきます。

**今後の「地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」について**

本会議を市内13地域に設置し5年が経過する中で、全地域において「行政に望む事業」の約8割が実施に至っています。このような中、今後の本会議のあり方について、委員の皆様のご意見等を伺うことになりました。今後、全体的に本会議のあり方の方向性を検討する際に、いただいたご意見等を参考にしていきます。

**主な意見**

- ・地域だけではなくなかなか実現困難な課題もあるので、今後とも行政と両輪でやっていかなければならない。
- ・地域住民の様々な考え方を取り入れながら、さらに住みよい地域になるよう、この会議はそのまま継続し、次のステップに向かって変化、進化していくべき。
- ・本会議をとおして、西部地域の素晴らしさを再認識できたので、参加して良かった。
- ・これからも、ここ西部地域は変わっていく地域だと思うので、このように地域の声を行政に届ける場は必要であり、継続してほしい。
- ・本会議の構成委員について、地域住民で希望される方にも参画いただき、幅広く様々な意見を取り入れてほしい。
- ・若い世代の方にも参画していただくと、違う視点での意見も伺えるので、さらに活発になるのではないかと。



西大分側ホバー基地完成後のイメージ図  
(提供：大分県企画振興部交通対策課)